

神戸地本主催 ユニオンカレッジ「役員基礎コース」開催

ユニオンカレッジでJR西労組の取り組みや世話役活動について学ぶ

JR西労組神戸地本は6月19日(金)、兵庫区文化センターにおいて神戸地本ユニオンカレッジ「役員基礎コース」を開催した。支部・分会・青年女性委員会活躍する組合役員約30名が参加した。

研修の冒頭ではアイスブレイクを実施し、受講生同士の緊張をほぐしながらスタートした。続いて鳥住副委員長が主催者を代表して挨拶を行い、昼夜を問わず現場第一線で安全・安定輸送を支えている組合員に対し、心からの敬意を述べた。

また、2025年度決算や中期経営計画2030の内容を踏まえ、「どれだけ会社が戦略を描こうとも、それを動かすのは現場で働く組合員一人ひとりである」と強調した。そのうえで、「安全の最後の砦は人である。現場の声を拾い、組織につなぎ、会社へ届けていくことが重要である」と訴え、一人ひとりに寄り添う組合活動の重要性を示した。

講義では、梅井教育部長が春闘・政策・政治活動・財政といった西労組運動の基礎について説明した。大澤企画部長は福知山線列車事故を原点とした安全の取り組みや、現場起点での安全確立の重要性について説明した。

さらに、松野組織部長が各種共済制度について説明し、「共済は仲間同士の支え合いで成り立っている」との考え方を共有した。あわせて、役員としての意識の持ち方について提起した。

グループディスカッションでは「世話役活動で困っていること」をテーマに意見交換を行った。行事参加率の低下や動員の課題、共済知識の不足、後任役員の確保など、現場の課題が共有された。

研修の締めくくりでは、受講生一人ひとりが今後の決意を表明した。最後に石原書記長が閉会挨拶を行い、充実したカレッジを終了した。

神戸地本は、修了生が今後各級機関でさらに活躍することを期待するとともに、次世代役員の育成に向けた取り組みを引き続き全力で進めていく。



講義を行う梅井教育部長



役員基礎コースの受講が終了した未来を担う役員



主催者挨拶を行う鳥住副委員長



講義を行う松野組織部長



講義を真剣に聞く役員



ディスカッションを行う参加者



発表を行う山家分会長

「第38回 定期中央本部大会」代議員決定

7月9日(木)~10日(金)、松下IMPホールにおいてJR西労組第38回定期中央本部大会が開催される。

中央本部大会代議員選挙の結果、神戸地本から10名の代議員が選出された。代議員は神戸地本を代表し、現場の声を代弁しながら課題解決に向けた議論に臨む決意である。



氏名	所属職場
鳥住 彰伸	姫路列車区
石原 正明	明石車掌区
藤井絵利香	明石電車区
鳥居 愛美	明石車掌区
小西 隆敏	明石電車区
高原 亮貴	西明石統括駅
池内 啓文	姫路統括駅
松本 雅俊	網干総合車両所 明石支所
横山 昇吾	三ノ宮統括駅 新神戸駅
那須 宰	神戸電力技術センター 姫路電力区

編集部より一言

6月に入りまして、新しい職場になった方もいるかと思います。皆様いかがお過ごしでしょうか？雨が多くなり梅雨の時期に入りましたね。個人的に、天気が悪いのは、気分が落ち込むこともありますが、雨も必要なので明るく元気に行きます。

さて、ワールドカップがスタートしました。ご存知の通り、初戦、日本は強豪オランダに2-2の引き分けに持ち込み、2戦目のチュニジアには、4-0の勝利をつかみました。決勝トーナメント進出は、第3戦のスウェーデン戦の結果次第ですが、勝ち点4を確保していますので、決勝トーナメント進出は、ほぼ間違いのないと思います。簡単ではありませんが、優勝を目指してほしいと思います。

日本が初めて、ワールドカップに出てから、28年が経過しましたが、ワールドカップで勝てるようになり、本当に強くなったと思います。今では、予選リーグの突破は当たり前になっており、決勝トーナメントでどう闘って勝利していくのかが重要になっていると感じます。

個人的に現在、ワールドカップ観戦により、寝不足になっていますが、4年に1度しかないので、できる限り観戦し応援したいと思います。

「日本頑張れ!!!」「日本頑張れ」「日本頑張れ」

次回の編集部より一言?(私のサッカー一言)もお楽しみに。